

県内百貨店・主要小売店12月実績

●百貨店	売上高		客数
岐阜高島屋	4.2		1.1
●小売店	売上高		客数
	全店	既存店	
バロー	3.1	2.0	▲1.7
Vドラッグ	2.7	▲1.8	▲2.6
ホームセンターバロー	▲0.8	▲1.9	▲7.1
セリア	1.0	▲3.8	▲2.8
ヒマラヤ	1.5	4.8	▲2.0

※数字は前年同月比の増減率。▲はマイナス。Vドラッグは中部薬品など5社の合計。ホームセンターバローはホームセンターバローなど3社の合計

県内に拠点を置く百貨店・主要小売店の2021年12月売上高実績(速報値、小売店は全店売上高)は、6社のうち5社が前年同月を上回った。季節性商材の売り上げ増が貢献した。

バローは帰省者が増加した影響で、年末3日間に郊外や山間部の店舗の売り上げが伸張し、全店、既存店ともに売上高が2カ月ぶりに上回った。Vドラッグは一般風邪薬やカウンセリング化粧品の売

数字でみる
ぎふ経済

12月の百貨店
小売店売上高 5社が前年上回る

り上げが復調傾向で、全店売上高が8カ月連続で前年同月を上回った。

岐阜高島屋は、コロナ禍で影響を受けてきたレディースなどの衣料品の売り上げに回復の兆しが見られた。一部前倒しで開いたセールの売り上げも寄与し、客数は8カ月ぶりに前年同月を上回った。

ほかの5社は、客数が前年同月を下回った。岐阜高島屋の担当者は「当社も体感ほど客数は伸びなかった。コロナ禍で少人数での買い物習慣が定着したことや、明確な動機を持った来店客が多いためにないか」と推察した。